

飲食店で JAQUAS を使用するメリット（従来の洗剤との比較）

アルカリ洗浄水 JAQUAS は、色々な場所での洗浄殺菌作業が可能なオールインワンの製品です。

キッチンでの使用

用途	従来の洗剤	JAQUAS
厨房機器の清掃	泡が立つ為、洗剤での洗浄作業後、水で泡を洗い流す必要有（泡の洗い残しによる界面活性剤の残留は微生物繁殖の原因）。特に冷蔵庫の清掃をする場合は、一度食品を全て外に出してから行う必要がある為、かなり手間がかかりメンテナンスが面倒。	無泡水でリンス作業が不要の為、洗浄効率が高い。水道水を使用した洗浄ではないので、ステンレスの腐食を防止可能（防錆効果）。ただの Ph 値の高い水であり食品についても安全である為、冷蔵庫の清掃作業は、食品を外に出さぬままでも行える。
コンロ周り、換気扇、フライヤーの清掃	油除去用の洗剤は、脱脂効果はすぐに出るが、非常に強い化学薬品を混入しており、強力な刺激臭を発生するだけでなく、皮膚刺激も強い為、労働者の健康を害する危険性がある。	アルカリ成分によって油が乳化する為、高い脱脂効果が期待できる。更に、加熱洗浄もできることから、フライヤーの洗浄に使用したアルカリ水を床の殺菌消毒&洗浄作業に再利用する事が可能。換気扇のファン、フィルターも加熱したアルカリ水に数分浸けるだけで洗浄可能。
キッチン床清掃	泡が立つ為、洗剤での洗浄作業後、水によるリンス作業が必要で、洗浄時間が長くなる。	無泡水でリンス作業が不要の為、洗浄効率が高い。上記の通り、フライヤーで加熱された水の再利用で床洗浄分の洗剤コストも削減。
殺菌作業	洗剤では殺菌効果無し。ブリーチは危険な化学品を使用している為、使用箇所が限定される。	アルカリ水は洗浄と殺菌が行えるので、アルコール除菌剤コストを削減可能。
野菜・果物・肉・魚の洗浄及び鮮度維持	通常の洗剤は、ケミカルである為、食品の殺菌洗浄作業は不可能。	アルカリ水は、安全なので食品の殺菌洗浄が可能。（一応、口に入れる前に水によるリンスは必要）。食品をアルカリ水でスプレーしてそのまま保存すると、アルカリ成分によって酸化による鮮度の劣化を防ぐことが可能。
調理道具、食器及びシルバーの洗浄	洗浄に関しては、大した問題はないが、包丁の防錆は不可能。シルバーの洗浄後、表面に界面活性剤が付着し白い残留物として残ってしまう為、それをわざわざ拭き取る必要がある。	アルカリ水をスプレーして乾かすだけという簡単な殺菌洗浄が可能。アルカリ成分が包丁の錆を防止。残留物の原因となる界面活性剤を含んでいない為、シルバーに白いシミが付着しない。
排水口の悪臭防止	界面活性剤が排水口にヌメリを付着させ、雑菌がそこに発生する為、悪臭を発生しやすい。	界面活性剤を含んでいないので、ヌメリの発生及び悪臭も防止する。継続使用で排水管の汚れや油を分解し、配管詰まりを防止。
オープン・レンジの洗浄	界面活性剤を含んでいる洗剤は、リンスが必要なので、オープン内の清掃はかなり手間がかかる。	スプレーして数分放置（加熱すると効果大）した汚れを拭き取るだけで清掃完了する為、清掃作業が非常に簡単。
ビールサーバーの洗浄	通常アルカリ洗剤で洗浄した後は、苛性ソーダ除去の為、水を何度も通さなくてはならない。	苛性ソーダを含んでいない為、すすぎが楽。更に殺菌洗浄が同時にできる上、使用済アルカリ水を別の用途に再利用可能。
ワイングラス洗浄	洗浄したグラスに洗剤臭が付着する為、ワインの臭いを邪魔してしまう。	臭いが全くない上、口紅やワインの汚れを簡単に洗浄することが可能。

ホールでの使用

用途	従来の洗剤	JAQUAS
床の清掃	泡が立つ為、洗剤での洗浄作業後、水で泡を洗い流す必要有。臭いを発生する為、オペレーション中に使用できない。	無泡水でリンス作業が不要の為、洗浄効率が高い。臭いを発生しない為、オペレーション中に使用してもゲストが不快にならない。清掃に使用したモップの臭いも発生しにくい。
テーブル・椅子の殺菌洗浄	ケミカル臭がある為、オペレーション中の使用は限られる。	スプレー噴霧で、洗浄と殺菌を同時に行える。臭いが無い為、オペレーション中の使用も可能。
ダスターの殺菌洗浄	泡が立つ為、洗剤での洗浄作業後、水によるリンス作業が必要。	無泡水でリンス作業が不要。使用していない間常にアルカリ水に浸けておけば、雑菌の繁殖及び悪臭の発生も防止できるので、拭いた場所に悪臭を付けずに済む。
ガラスの洗浄	従来のガラス用洗剤では白い残留物が付着するので曇ってしまう。	残留物が付着しないので、ガラスが曇らず透明度を維持できる。
トイレの洗浄	界面活性剤を含んでいるので、水によるリンス作業が必要となる。界面活性剤を流し切るのは難しい為、乾いていない状態でその上を歩くと足跡が発生してしまう。ケミカル臭が芳香剤の臭いと混ざって不快な臭いを発生する。	界面活性剤を含んでいない為、半乾きの状態で上を歩いても足跡が付着しない。ケミカル臭がしないので、芳香剤の香りと混ざり合う事がない。